

著者と読む - 選書刊行記念企画 -

教養研究センター選書

「教養研究センター選書」とは：教養研究センター所員が独創的な論考を平易なスタイルで紹介する、個性ある魅力的なシリーズです。諸国の文学、言語、哲学、芸術表現、社会学など、様々な学部にも所属する所員の多様な関心を反映して、多彩なテーマで刊行されています。

「著者と読む教養研究センター選書」とは：「教養研究センター選書」をより広く知ってもらうために、著者に内容を紹介して頂き、さらにゲストも交えてテーマを掘り下げようという企画です。今回は、本年出版された『「アーサー王物語」に憑かれた人々-19世紀英国の印刷出版文化と読者』をめぐる会です。著者の不破有理氏が登壇し、自著の紹介とゲストとの討論、および参加者との質疑応答を行います。

選書企画：「アーサー王物語」に憑かれた人々-19世紀英国の印刷出版文化と読者

なぜアーサー王伝承は現代まで生き延びたのか、アーサー王物語の定本トマス・マロリー『アーサー王の死』は18世紀に1冊も出版されなかったにもかかわらず、なぜ1816年に、2種類も刊行されたのか、さらに古本に残されていた匿名編集者の怒りの告発から生まれた疑問、これらに答えるべく本書は誕生しました。

出版の勝敗の謎を本のカタチから解き、アーサー王文学の受容におけるテキストの意義、18世紀から19世紀へと高まった英国中世とアーサー王への関心、読者層の拡大と出版戦略など、登壇者の皆さんと深掘りをします。印刷出版界・書誌学・読者論・アーサー王伝承に関心のある方、秋の夕べ、本をネタに語り合しましょう。

日時：2023年11月30日（木）16：30～18：30（途中退室可）

<登壇者> 不破 有理（慶應義塾大学 名誉教授）【選書著者】

原田 範行（慶應義塾大学文学部 教授）

安形 麻理（慶應義塾大学文学部 教授）

高橋 勇（慶應義塾大学文学部 教授）

<司会> 迫 桂（慶應義塾大学経済学部 教授）

【対面開催】★事前申込み制★

場所：日吉キャンパス来往舎1階シンポジウムスペース

対象：塾生・慶應義塾教職員・大学教員・研究者

申込み：【要】以下、URLまたはQRコードよりお申込み
ください

bit.ly/4072EYq



第3回「アーサー王物語」に憑かれた人々
19世紀英国の印刷出版文化と読者

不破 有理

11/30

Thursday

16:30 ~ 18:30

